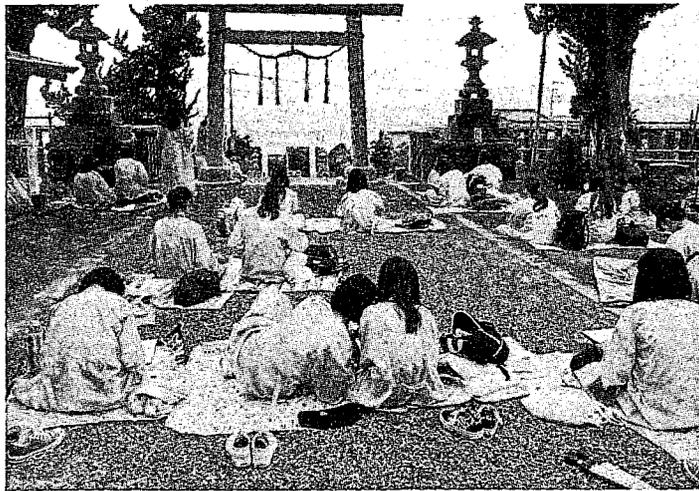


布良でスケッチツアー

女子美大付属中2年生141人

東京の女子美術大付属
中学校2年生141人が
このほど、館山市布良に



スケッチに取り組む生徒ら＝館山市布良で

スケッチツアーに訪れ、
青木繁が海の幸を描いた
雰囲気を感じながら絵を
描いた。

スケッチツアーは同校
の伝統行事で、2年生は
千葉県内で海を描くのが
恒例。布良は明治を代表

する画家・青木繁が愛し
た聖地で、女子美大の名
誉理事長の大村智氏は、
海の幸が描かれた「小谷

繁『海の幸』合の理事
長を務めるなど大学と縁

の深い地でもあり、今回
初めて布良でのツアーが
実現した。

2泊3日の日程で訪れ
た生徒らは、初日はNP
O安房文化遺産フォー
ラムの案内で、小谷家住
宅、布良崎神社、布良漁
港などを見学。2日に
1日ばかりで水彩画でス
ケッチに取り組む、小谷
家の記念館やアジサイ、
港の風景、神社の鳥居越
しの海などを思い思いに
スケッチブックに描い
た。

同中学校の担当教員は
「さまざまなロケーショ
ンがあり、いろいろな絵
を描くことができた。館
山は青木をはじめ近代画
家たちが愛した地域で、
そうした魅力を生徒たち
も感じ取っていることが
絵にも表れていた。来年
もぜひ訪れて体験させたい」と話していた。